

肝属地域における中核肉用牛農家の育成

～中山間地域の活性化を目指して！～

所属名：大隅地域振興局農政普及課

発表者名：森岡 達也

<活動事例の要旨>

肝属地域は、全国でも有数の肉用牛生産地帯であるが、農家の高齢化等に伴い、飼養戸数・頭数は減少傾向にある。

このような状況の下、肉用牛生産基盤を維持していくためには、新規就農者の確保・育成と大規模農家の経営維持・発展が重要である。

そこで、当地域で最も高齢化率が高く、中山間地域で後継者不足の課題を抱える錦江町において、改善意欲・波及効果の高い新規就農者・大規模農家をそれぞれ選定し、モデル農家に位置づけ、重点的な支援を行い、その成果の普及を図った。

1 計画された活動の課題・目標と策定過程

(1) 課題・目標と設定理由、及び活動の内容と方法

ア 新規就農者（飼養管理技術向上）

モデル農家の現状については、子牛の出荷日齢が市場平均と比較して長く、販売価格も平均価格を下回っていた。特に、子牛育成期の飼養管理等が不十分であったことから県肉用牛振興協議会が作成した「子牛育成飼料給与マニュアル」を活用した飼養管理技術の改善を支援した。

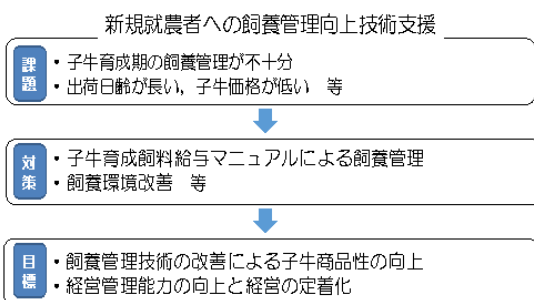
イ 大規模農家（経営維持・発展）

大規模家族経営農家の更なる規模拡大においては、労働力の確保及び労力の軽減が課題となっている。

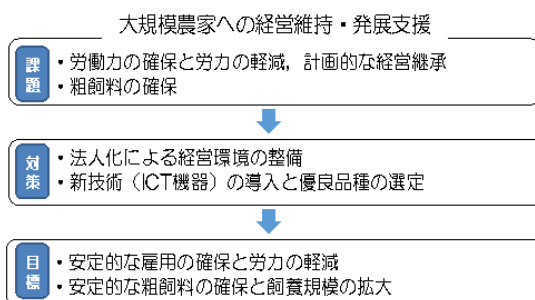
そこで、法人化による労働環境の整備と雇用の確保、新技術（ICT機器）導入による労力の軽減実証、さらに、中山間地域における粗飼料の安定的な確保に向けての支援を行った。

(2) 計画の策定過程

ア 新規就農者への飼養管理技術向上支援



イ 大規模農家への経営維持・発展支援



2 普及活動の内容

(1) 活動の経過

ア 新規就農者への飼養管理技術向上支援

①モデル農家の現状把握を行い、課題整理票を作成し、農家ごとの改善努力目標を設定した。

②定期的な巡回指導を実施し、課題解決に向けた技術改善指導を行った。

③マニュアルの推進と子牛の商品性向上のため、肝属中央家畜市場にて過肥牛が価格に及ぼす影響を調査した。【調査研究】

④活動成果は研修会にて報告した。また、管内の大型肥育農家で現地研修会を開催

し、「肥育農家の求める子牛づくり」について理解を深めた。

イ 大規模農家への経営維持・発展支援

牛 移動式哺乳ロボットの実証試験【調査研究】

これまで利用している「固定式」哺乳ロボットに加え、疾病の水平感染等の抑制と、個体管理の徹底による発育の向上が期待される「移動式」哺乳ロボットを新たに導入し、有効性について調査を行った。

草 冬作優良新品種の展示ほの設置

錦江町は中山間地域で、ほ場が少なくかつ一筆あたりの面積も狭い。そこで、狭い限られた面積で効率的に粗飼料を確保するため、冬作優良新品種を作付実証し、地域の飼料増産に繋がる品種や栽培体系の検討を行った。

人 法人化による経営安定性の強化支援

安定した雇用の確保や、計画的な経営移譲を踏まえ、法人設立支援（税理士、行政書士等）や労働環境整備支援（社会保険労務士等）を行った。



写真1 移動式哺乳ロボット

(2) 指導・支援の体制

ア：なんごう畜産部会を指導チームに位置づけ、巡回指導を中心とした支援の実施。

イ：3つの課題（牛、草、人）に対して、関係機関や専門家と連携した支援の実施。

3 普及活動の成果

(1) 課題及び目標の達成状況とその要因

ア 新規就農者への飼養管理向上支援

・モデル農家での飼養管理改善（制限哺育の実施、牛舎の環境改善等）が図られ、活動前に比べて出荷日齢（-23.8日）及び販売価格（+11.8%）ともに向上した。

イ 大規模農家への経営維持・発展支援

牛 移動式哺乳ロボット導入により、疾病率が低下（-41.4%）した。

草 イタリアライグラスの早生4倍体品種の導入により、生草収量が660kg/10a増加した。

人 経営継承計画（10年間）を作成し、H30.6に法人を設立した。

(2) 活動に対する生産者・農家の評価

「地元市場の過肥牛と価格の関係を見ることで、マニュアルの重要性を感じた」
「法人設立は大変であったが、従業員数も安定し、やって良かった」

(3) 地域農業振興への貢献

本取組については地域からの関心も高く、貢献度は高いと思われる。

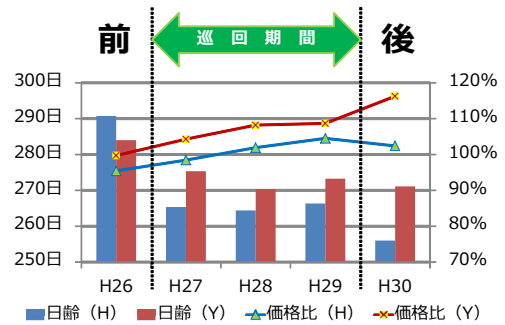


図1 新規就農モデル農家(H・Y)の出荷日齢と市場価格比の推移

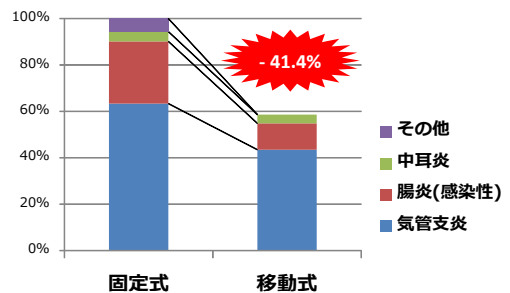


図2 固定式の疾病発生率を100%としたときの内訳比較

4 今後の普及活動に向けて

(1) 今後の課題

ア 就農支援及び就農後の巡回指導の継続。

イ ICT技術の実証支援を継続・地域への普及。

(2) 今後の活用に向けて

新規就農者の定着と大規模農家の経営発展による地域の活性化。

